

平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	下水道における戦略的維持管理の推進に関する調査経費		担当部局庁	水管理・国土保全局下水道部		作成責任者	課長 増田 隆司	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成24年度		担当課室	下水道事業課				
会計区分	一般会計		政策・施策名	4 水害等災害による被害の軽減 11 住宅・市街地の防災性を向上する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・社会資本整備重点計画(H21.3.31閣議決定) ・新成長戦略(H22.6.18閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	増大する下水道施設を効率的に管理し、下水道サービスを安定的に確保するために必要な、新規整備、維持管理、延命化、改築更新までを一体的に捉えたアセットマネジメント手法の実施に向けた検討を行い、かつ国際規格に関する情報収集等を行うことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	下水道施設ストックが増大し、老朽化施設の改築等に係る費用も増大しており、効率的な施設管理の重要性は一層高まっている。また、下水道分野では各施設のライフサイクルコストの最小化に向けた長寿命化計画策定を推進しているところであるが、今後は予算・財源の確保を踏まえ中長期的な経営等を含めたより幅広い視点からのアセットマネジメント(以下「AM」という。)の推進が求められているため、AMの推進に向けたガイドラインのとりまとめを行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	12	11			
		繰越し等	-	-	-			
		計	-	12	11			
	執行額		-	12	11			
	執行率 (%)		-	97%	98%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)	
	下水道施設の長寿命化計画策定率		成果実績	%	-	約54	集計中	100
			達成度	%	-	約54	集計中	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	下水道における戦略的維持管理の推進に関する調査報告書件数		活動実績 (当初見込み)		-	1	1	( ) ( ) ( )
単位当たりコスト	11百万円 (実績額/報告書)		算出根拠	執行額 11百万円/報告書1				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	住宅・市街地防災対策調査費	-	-					
	計	-	-					

事業所管部局による点検							
	項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	下水道サービスを安定的に確保するために必要な、新規整備、維持管理、延命化、改築更新までを一体的に捉えたアセットマネジメント手法の確立、及び全国的な推進に向けた検討は、国が実施すべき事業であり、優先度は高い。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先は、公募を行った上で価格面及び成果物の品質確保のための技術面の両方の観点から評価し選定を行っており、選定の妥当性競争性は確保されている。費目、使途は本施策に必要な検討を要するものに限っている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-				
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	活動実績は見込みに見合ったものである。また、調査結果は幅広い視点からのアセットマネジメントの推進に資するものであり、有効である。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名				
点検結果	<p>・下水道施設の老朽化に伴う更新費の増加や、厳しい財政状況の中での安定的な下水道サービスの確保は、大都市に限らず、全国的な課題であるため、国として下水道における戦略的維持管理を推進するため、アセットマネジメント手法を確立し、その手法を全国的に展開していくことが必要であると考える。</p> <p>・発注先の選定にあたっては、企画競争による手続きにおいて、企画提案書の評価にあたり匿名評価方式で書類評価を行うとともに、企画競争委員会における外部の有識者委員会による審査を導入し、より透明性・公平性の確保を図っている。</p> <p>・業務の実施にあたっては、適切な指示を行うなど、国が求める調査内容となっているか、方策とりまとめに向け調査内容に過不足はないかなどの確認を行っている。</p> <p>・調査終了後、完了時の検査を通じて、発注先より提出のある成果物(報告書)の内容が、国の求める調査事項を網羅しているか、国が指示した報告書の整理方法となっているかなどの確認を行っている。</p> <p>・なお、本経費は平成24年度をもって業務の目的を達成したことから、平成24年度をもって廃止された。</p>						
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
抜本的な改善の	平成24年度で事業を廃止。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
-	平成24年度で廃止						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年		平成23年	0139	平成24年	0181		

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省  
11百万円

現状把握、課題整理、アセットマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化計画策定手法の検討、ガイドライン

【競争入札・公募等】

A. 財団法人(1者)  
11百万円

現状把握、課題整理、アセットマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化計画策定手法の検討、ガイドラインの策定等

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(財)下水道新技術推進機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	アセットマネジメント手法を踏まえた下水道施設の長寿命化に関する調査検討業務	11			
計		11	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人下水道新技術推進機構	アセットマネジメント手法を踏まえた下水道施設の長寿命化に関する調査検討業務	11	3	0.98
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					